

「県民協働による事業改善」 点検結果と対応状況

事業番号	A-2	担当部課名	企画部生活文化課
事業名	芸術文化活動推進事業②(サイトウ・キネン・フェスティバル松本等)		

1. 点検結果集計

区分	(1)行政が実施する「必要は無い」	(2)「国・市町村」での実施が望ましい	(3)「現行どおり」事業を継続	(4)事業規模を「拡大(増加)」	(5)事業規模を「縮小(減少)」	(6)事業規模は「現状維持」
県政モニター	1	国 市町村 その他	3	4		2
有識者		国 市町村 その他	2	2		1

2. 点検シートの内容等と対応状況

点検シートの内容等	県としての考え方・対応方針
【事業が目指す方向性の見直し 2】 ・松本のみでなく県民が親しむ機会の充実を図って欲しい。 ・子どものための音楽会や青少年のためのオペラは、特に評価できる取り組みである。 ・新規事業を検討して欲しい。 ・若手芸術家の育成をすべき。	・引き続き、松本市以外の地域での「特別出前コンサート」やホクト文化ホールでの「子どものための音楽会」の開催、公開リハーサルを設ける等、可能な限り多くの県民に、サイトウ・キネン・フェスティバル松本に触れていただく機会を提供していきます。 ・サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会において、平成26年度の事業計画を再検討し、サイトウ・キネン・フェスティバル松本の波及効果が県内に広がるよう、スクリーンコンサートや特別出前コンサート等の事業を拡充します。 ・若手芸術家の育成については、長野県文化振興事業団と連携し、長野県ゆかりの若手芸術家の発掘・支援(発表の場の提供、情報発信等)を、充実します。
【地域やコミュニティの参加や連携の強化 5】 ・実施方法等で民間の力の導入を検討すべき。 【民間委託の推進(民間ノウハウの活用) 1】	・サイトウ・キネン・フェスティバル松本の運営は、450名を超えるボランティアの皆さんの力により支えられてきています。また、民間企業も資金面や人的支援をしていることから、今後も官民が協働した運営体制を維持していきたいと考えています。
【広報(PR)の工夫、充実 6】 ・中継やアーカイブを活用し、コンサート等を観る機会の拡充を検討して欲しい(2)。	・サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会にて、平成26年度の事業計画を再検討し、新たに東北信・中南信の2カ所でスクリーンコンサートを実施します。
【投入予算や従事職員数に対して得られる効果(費用対効果)の向上 1】 【受益者負担の拡大 1】 【その他 2】 ・負担金50,000千円を倍増して欲しい。	・サイトウ・キネン・フェスティバル松本は、開催当初から民間企業・県・松本市が一体となって経費を負担し運営を支えてきています。 ・サイトウ・キネン・フェスティバル松本の波及効果が広がる新たな事業の実施に伴い、予算規模が拡大したため、平成26年度県負担金を増額します。 ・サイトウ・キネン・フェスティバル松本が、日本を代表する国際的音楽祭として持続されるよう、サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会において、中・長期的な観点で、財政面を含め、今後の事業内容の検討をすることとなっています。

3. 平成26年度当初予算案での対応

- サイトウ・キネン・フェスティバル松本の波及効果が広がる新たな事業の実施に伴い、サイトウ・キネン・フェスティバル松本共催負担金を増額します。
- 若手芸術家の新たな発表の場として、公共的空間を積極的に活用するため、若手芸術家と観光コラボレーション事業を増額します。
- 新たに、県内アトライン協議会等との協働により、「しあわせ信州シェアスペース(仮称)」を活用し、長野県のミュージアムの魅力を首都圏に発信します。

	H26当初予算案	H25当初予算額	増減(H26-H25)
事業費	65,026	52,373	12,653
うち一般財源	63,022	48,229	14,793
人件費	9,910	9,910	0
合計	74,936	62,283	12,653

〔増減内容〕

- ・サイトウ・キネン・フェスティバル松本共催負担金の増 10,000千円
- ・若手芸術家支援拡充に伴う経費 493千円
- ・ミュージアムの魅力発信に要する経費の増 2,160千円